

# ARAX news

アラックスニュース 2005年 秋号

こんにちは、環境事業を推進する新井総合施設株式会社です。  
「君津環境整備センター」をはじめとしたアラックスグループの活動を  
地元の皆さまにお知らせすることも私たちの大切な仕事と考えています。

1



君津環境整備センターは首都圏の基幹処分場として注目されています。

## TOPIC NEWS

### もつとアラックスを知っていたただきたい。 地域の皆さまにアラックスニュースを 季節ごとにお届けします。

常にご意見をいただける  
関係に発展させたい。

私たちは地元の企業市民です。企業市民とは「企業は従業員を通じて、また企業活動そのものを通じて、地域社会と深い関わりを持っており、地域社会は企業の存立基盤である」、「製品やサービスの提供、納税、雇用など企業が果たしている社会的役割も、地域社会等、社会の健全な発展があつて初めて可能となる」という考えです。特に私たちの様な廃棄物を扱う事業は地元地域の皆さまのご理解があつてはじめて健全に運営されるものです。そのためにもっと私たちのことを知っていただき、常にご意見を頂戴できる関係を発展させることが



環境学習の一環として地元小学生の方も見学されました。

重要だと考えています。君津環境整備センターをはじめとしたアラックスグループの活動内容をお知らせすることは私たちの大切な仕事だと考えています。

### 地元で誇れる最高水準の 施設をめざして

平成十六年四月に操業を開始した君津環境整備センターは、首都圏における管理型産業廃棄物処分残容量の約四割を占める首都圏最大規模の施設であると同時に計画、設計、施工を通じて施設面でも首都圏の基幹処分場たる先進的な施設として建設されました。八層にも及ぶ遮水構造、最新鋭の浸出水処理施設による厳しい自己排水基準の設定、漏水

## ARAI'S EYE

### 地元地域に根ざした企業として、 末永いおつきあいをさせていただきたい

**君津** 環境整備センターを開業させていただいて一年半が経ちました。振り返れば台風による運営休止など様々な試練がありましたが、こうして無事運営させていただいておりますのも地元の皆さまの多大なるご支援とご協力の賜物と感謝いたしております。この場を借りて御礼申し上げます。

今年の年頭、全社員を前にして、アラックスグループは地元地域に根ざした企業、企業として地域の土台となる。とあらためて方針を発表しました。我々の事業が地域の皆さまのご理解があつて成り立っているということはもちろん、地元地域の方と手を携えてこの事業を発展させて行くことを各方面から大きく期待されていることを感じるからです。

日本の環境事業は、他の産業以上に大きく成長していくことが見込まれています。アラックスグループは、企業市民として地元の行事の参加はもちろん、君津環境整備センターの運営、雇用などを通して、地元中心の新しい企業のカチを創って行きたいと思っております。地元地域に根ざした企業として皆様とさらに強い信頼関係を築き、末永いおつきあいをさせていただきたいと思っております。これからもよろしくお願いたします。



代表取締役社長 新井 隆太

検知システムや自己修復機能など、建設にあつて我が国の最新の技術を積極的に導入しました。操業から一年半が経ち、取引先も含めると千名近い方々がこの施設にご来場いただきましたが、最新の施設以上に関心が高かったのが、君津環境整備センターの徹底した情報公開と積極的な施設開放といった運営面の取り組みでした。現在、地元の方々をはじめ、市民団体、学校、メーカー企業あるいは廃棄物関連団体や学会関係等の見学、研修、学習に積極的に施設をご利用いただいております。また放流

水や地下水の水質データをホームページ上で毎日表示するなど、信頼される最終処分場として活動しています。既存・新設処分場運営の新しい指針になる処分場として、君津環境整備センターの取り組みが伝わり、首都圏はもちろん遠くは九州の行政担当者、県会議員団も視察にお越しになりました。技術面、運営面における君津環境整備センターの質の高い最終処分事業はこれからの廃棄物の適正処理・資源化事業全体への社会の信頼を高めることにつながっています。我が国の環境分野における市場規模は自動車産業を大きく超え、規模も内容も一大産業に成長し、さらに拡大する産業と期待されています。今後、君津環境整備センターの先導的な役割はさらに重要なものとなっていくことでしょう。私たちアラックスグループは、地元の皆さまの誇りと思つていただける、日本そして世界的にも最高水準の管理型処分場をめざします。